



南会津 のうりんニュース

平成22年10月(第149号)

今月の写真：六地藏（檜枝岐村）

収穫の秋です。今年は気候の変化が激しく、農家の皆様方は、生産量確保のため、例年にも増してご苦労されたことと思います。飢餓に苦しむことがないのは、大変幸せな時代です。飽食の時代といわれて久しいですが、さまざまな食べ方が工夫されています。例えば米でパンをつくる機械が好評で注文が予定の倍になり、発売が来月に延期になったそうです。「米粉」ではなく「米粒」からパンをつくるという一工夫が好評の理由のようです。売るためのちょっとした工夫は農業の6次産業化の際にも重要な視点になるでしょう。

今月の内容：

- 今月のトピックス
 - ・今年も豊作だ！手鎌で稲刈りを体験
 - ・南会津地方林業労働安全衛生対策推進大会開催！
 - ・～間伐材の利用を進めるために～
 - ・「食の安全・安心アカデミー（生産者コース）」が開催されました！
 - ・農村地域の環境を守るために！
- お知らせ
 - ・「ごちそう ふくしま絆づくり運動」
 - ・「食彩ふくしま地産地消推進店」
- 今月のコラム
 - ・雑感

平成22年10月20日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

🌿 今年も豊作だ！手鎌で稲刈りを体験



みんなで協力して収穫しました！

春に自分達が田植えをした稲の刈り取り、脱穀を南郷第二小学校の児童が体験しました。農林事務所で支援している、環境教育の一環である「田んぼの学校」が、9月24日学校協の水田で行われました。

この時期には珍しい長雨で2回ほど予定が延期され、待ちに待った収穫となりました。

まず、地元田んぼの学校応援団の皆さんによる指導のもと、一列に並び鎌による手刈りを開始し、

刈り取ったものを順次コンバインに運び、脱穀をしてもらいました。田んぼの学校2年目ともなると全児童60名の作業の分担も刈る手際も良くなり、5畝もある黄金に染まった「こがねもち」を1時間ちょっとで刈り終わることができました。長雨で田んぼが柔らかく、泥に汚れながらも、歓声を上げての作業で、田んぼの魅力を満喫しました。

コンバインを使っただけの脱穀の後、昔の「千歯こき」と「足踏み脱穀機」を使った脱穀も体験し、その作業の違いに驚いていました。田植えから始まり、夏の草取りなど、自分達で半年間生育を見守ってきたものであり、収穫の喜びを感じていました。最後に児童代表から地域や関係機関の方々にお世話になった御礼がありました。

収穫した餅米は学校のヒメコマツ発表会(11月7日)でみんなで味わう予定です。

(企画部・農業振興普及部・農村整備部)

🌿 南会津地方林業労働安全衛生対策推進大会開催！

9月3日(金)南会津町あご館において、南会津地方林業労働安全衛生対策推進大会を開催し、南会津郡内の林業従事者や林業経営者、森林組合関係者等約70名が参加しました。

福島県では、本年2月に、森林整備事業の現場において4件の労働災害が立て続けに発生しまし

た。4件とも基本的な作業方法を遵守すれば防げた災害であったことから、間伐関係の事業が増加するこれからの季節を前に本大会を開催し、安全な作業方法の確認を行いました。

まず、会津労働基準監督署の小野寧康第二方面主任監督官から、会津労働基準監督署管内の林業現場で発生した労働災害の事例から見た、労働災害の傾向と防止対策及び労働災害に伴う雇用者と労働者の法的な責任について講演していただきました。



大会宣言を読み上げる南会津地方森林組合連絡協議会長

次に、農林事務所の林業労働安全担当より、振動障害の予防、かかり木の適正な処理、現場での安全管理等について説明しました。最後に、出席者を代表して、南会津地方森林組合連絡協議会の馬場久一会長が大会宣言を読み上げ、満場一致で採択し、安全作業の徹底等を誓いました。

(森林林業部)

～間伐材の利用を進めるために～

間伐材を搬出利用する。これは、これから間伐を進める上で非常に重要なポイントになってきます。

国が策定した森林・林業再生プランでは、森林・林業の再生に向けた改革の姿が描かれ、「10年後の木材自給率50%以上」を目指すべき姿としています。この目標達成のためには、森林の路網と林業機械を組合せた作業システムの構築・普及・定着が必要です。

このため、5月18日から21日にかけて、「低コスト」「自然災害に強い」「山を痛めない」作業道として全国で注目を集めている「四万十式作業道」を推進している田邊由喜男氏（森杜産業株式会社代表取締役）を講師に招き作業道開設の研修を行いました。8月26日から27日には、この作業道を利用し、四万十式作業道と林業機械を組合せた集材、玉切、搬出等の作業システムの



間伐材搬出作業の研修現場です

実践的な技術研修を行いました。

今回研修した作業システムは、これまでの当管内における利用間伐の経験や実績、地形等を考慮し、ウィンチ付グラップルと林内作業車を組合せたものでしたが、この他にも、プロセッサ、フォワーダ、スイングヤード等いわゆる高性能林業機械を使用する方法もあります。

今後は、今回研修した「低コストで山を痛めない作業道」により森林所有者の作業道に対する理解度を高めながら、南会津地方に適した間伐材搬出システムをさらに検討し、間伐材の利用を推進していきたいと思えます。（森林林業部）

「食の安全・安心アカデミー（生産者コース）」が開催されました！

昨年度から、農産物生産・食品製造・流通の各段階における「食の安全・安心確保」に対する取組を支援するとともに、消費者とのコミュニケーションを図り相互理解を促進することを目的として、生活環境部、保健福祉部、農林水産部が一体となった事業を展開しています。



インターネット販売について学びました

当事務所では「農産物生産」の分野を担当し、管内の食の安全・安心の確保に意欲的な、22名の生産者の方々を対象に、9月6日「食の安全・安心アカデミー（生産者コース）」を開催しました。

今年が目玉として、当地域において、インターネット販売のためのホームページを開設、ブログを公開し、多方面へ情報発信をしている「花泉酒造 合名会社 常務 脇坂齊弘 氏」を講師にお迎えし、昨今のインターネット販売に焦点を置き、生産者にとって販路拡大のツールとして知っていただくことを目的とした講義を盛り込みました。



お一人お一人に松本農業振興普及部長より「受講証」をお渡ししました

また、南会津地方振興局が『景品表示法』、南会津保健所が『食品衛生法』、農林事務所企画部が『JAS法と米トレサ法』、そして農林事務所農業振興普及部が、『生産段階における食の安全・安心についての仕組みづくり』として全講義のまとめを行った後、全課程参加された皆さんに「受講証」をお渡ししました。

今後、11月に生産者・事業者・消費者のリスクコミュニケーションの場として『食の安全・安心推進大会』が開催されます。そこで今回の様子もパネルなどで紹介します。

なお、次年度も、継続して「食の安全・安心アカデミー（生産者コース）」を開催する予定です。（農業振興普及部）

農林事務所からお知らせ

「ごちそう ふくしま絆づくり運動」

農 林水産業と食、緑、環境、暮らしをつなぎ、県民みんなで支え合う「絆づくり運動」の一環としてPRイベントを開催します。

今年度は、貸切バスで管内の農林業の現場を巡り、消費者の皆さんに農林業に対する理解を深めていただきます。

農村地域の環境を守るために！

下 郷ふれあいセンターで9月1日に「農地・水・環境保全向上対策」を実施している管内の活動組織の役員と町、土地改良団体連合会、県の担当職員が参集して、今年度の福島地域協議会南会津支部研修会が開催されました。

「農地・水・環境保全向上対策」は過疎化、高齢化、混住化が進行している農村地域で農地や農業用水などの資源を守るために活動するもので、平成19年から国・県・市町村の支援で行われています。南会津管内では下郷町の2組織、只見町の11組織が、水路や農道などの維持管理の共同活動して、美しい南会津の農村環境を守っています。



農村環境を守るため、熱心に研修を行いました

研修会では同対策に対する中間評価として実施された、活動組織に対するアンケート結果の報告や組織の「体制整備構想」の再点検、さらには活動の帳簿類を検査した際の注意事項について説明され、質疑応答がなされました。

なお、この農地・水・環境保全向上対策事業は当面、平成19～23年度の5ヶ年の事業とされており、平成23年度は制度が拡充される予定です。なお、それ以降の扱いは国で検討されています。（農村整備部）

日時：平成22年11月7日（日）

場所：南会津町(旧南郷村)の農林業現場（予定）

内容：森林整備の現場見学、農産物の収穫体験など

募集人数：親子を中心とした先着30名程度

参加料：一人500円程度を予定しています。（昼食代、保険料等）

問い合わせ先：企画部 地域農林企画課

電話 0241-62-5252

今月のコラム

雑 感

今年の夏は暑かったですね！という言葉が、懐かしく聞こえる今日この頃の天気である。

天気（大気現象）は太陽から受け取ったエネルギーを源としているが、太陽は約11年周期で活動が変化し、今年の春先には太陽の黒点がほとんど無くなり、約100年ぶりに活動の極小期に入ったと考えられていた。また、エルニーニョも発生しており、春の長期予報では今年の夏の天候は冷夏が予想されていたところである。しかし、気象観測始まって以来の113年で初めての激暑となり、作物だけでなく社会生活でも多

くの影響が見られた。近年は地球温暖化が確実に進んでいるとされ、また、天気の変動が大きくなっているとみんなが感じているが、今年の冬は、そして来年の天気はどうなるのだろうか。そして、農業への影響は？

宮沢賢治の「雨にも負けず、風にも負けず、雪にも夏の暑さにも負けぬ・・・そういう者に私はなりたい」が、脳裏を過ぎった。



太陽観測機SOHOが2009年3月31日に撮影した太陽の表面。黒点が多すぎない。National Geographic News April 8, 2009

農業振興普及部長 松本 登

農林事務所からお知らせ

福島県の豊富な農林水産物を多くの方に知っていただくとともに、実際にお店で食べていただくことにより、消費拡大につなげることを目的とした「食彩ふくしま地産地消推進店」を募集しましたところ、県全体で多数の応募があり、このほど認定がなされました。

南会津管内においては、今年度7店舗認定（合計19店舗）となりました。

お近くにお寄りの際は、是非、足を運んでみてはいかがでしょうか？（農業振興普及部）

パンフレットがございますので、詳しい内容はホームページをご覧ください。

「食彩ふくしま地産地消推進店」

南会津郡内一覧（☆印は平成22年度認定店）

店舗名	住所	電話
会津猿楽そば	下郷町大字落合	0241-67-2311
いろり	下郷町大字弥五島	0241-67-3878
☆下郷町三彩館	下郷町中山	0241-69-5033
☆下郷町物産館	下郷町弥五島	0241-67-4433
☆そば処 大川	下郷町豊成	0241-67-3447
農家レストラン 蕎屋(きょうや)	下郷町大字中妻	0241-67-3522
レストランみくら「道の駅しもごう」内	下郷町大字南倉沢	0241-67-3802
お食事処 水芭蕉	檜枝岐村	0241-75-2226
季の郷 湯ら里	只見町大字長浜	0241-84-2888
只見町歳時記会館	只見町大字只見	0241-82-2221
八十里庵	只見町叶津	0241-82-3401
会津田島祇園会館レストランコーナー	南会津町田島	0241-62-5557
☆会津六名館	南会津町針生	0241-64-2355
柏屋	南会津町田島	0241-62-0348
山王茶屋	南会津町糸沢	0241-66-2108
☆手打そば処 かわちや	南会津町田島	0241-62-2167
☆花泉古民家 Restaurant & Cafe	南会津町界	080-1650-7232
名代 菊水	南会津町水石	0241-78-2688
☆レストラン・ヴォーノ	南会津町田島	0241-62-2250

<http://www.pref.fukushima.jp/an-ryu/suishinten/suishinten.html>（県農産物安全流通課へリンク）

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

電話 0241-62-5252 FAX0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>

南会津農林

検索

バックナンバーはこちらから

みんなが主役。「絆」がつくる



“ごちそう ふくしま”

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。



この広報誌はSOY(大豆油)インキを使用しています。